

SUMMARY

No092019

新しいサイクルに入りました。

新しいサイクルに入った当日には特にマトリックスの数値構造を観察しましょう。

[10]→F1、[11]→F2、[12]→F3、[01]→F4、[02]→F5 のサーキュレーションの“からくり”を再確認します。F6 には[03]が加わりました。

それに合わせてバリューチェーンをご覧ください。

9/18 現在[03]のバリューチェーンはまだ出ていませんでしたので、[10]～[01]のバリューチェーンを掲げました。参考にしてください。

繰り返しになりますが、以下のチェックポイントを掲げました。

その中で今週は「コンバージョン」について詳細に解説しました。

「コンバージョン」は表面に出てこないのに気に留めないとかもしれません。あるいは、そんなものがあったのかと思われるかもしれません。決済はランオフの場合自動化されているのでコンバージョンなど知らなくても「自動フォールド」ができます。しかし、それを知っているとマトリックスとバリューチェーン、ITV や OTV の関係が数学的によりよく見えます。

いつでも原点に戻ってください。それは第一の項目「マトリックスの数値構造のからくり」です。すべてはそこから始まります。そして、それは他のすべての項目と関係しています。

- ・マトリックスの数値構造のからくり
- ・マトリックスに含まれた ITV
- ・マトリックスに含まれた STV
- ・マトリックスの数値構造と「すべてが N になる」原理
- ・バリューチェーンの数字(価値)の構造(数字の配列と仕組み)
- ・バリューチェーンに含まれた ITV と OTV
- ・OTV の普遍的原理
- ・「時間」の概念
- ・それぞれのタイプのハンドについて
- ・オペレーション/ハンド操作の技術:
フロップ/レイズ/フォールド/ランオフ/ローテーション
- ・コンバージョン

今週私がレポートを通じて特に伝えたかったメッセージは以下の通りです。もう一度目を通してください。

Something amazing

マトリックスの数値と数値構造を観察して「何か凄いことに気づいてしまった。」と感じたのは数値の cyclicity(循環性)と continuity(連続性)によって数値が実質 $N(=0.00)$ に向かうということでした。

マトリックスに含まれた ITV の差
教値を組み合わせて
計算しにくい見え方、
教値の変化とポジティブ
(速度)、時間が関係し、
全ての教値が最終的に
Nに向かう
マトリックスの教値とバリューチェーンの価値
を7分「教育的からくり